

知行合一

学校教育目標

夢実現
潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校だより 第6号

令和3年9月29日

文責 校長 沖田 龍藏

「賢を見ては齋（ひと）しからんことを思い、不賢を見ては内に自ら省みるなり。」【論語】は、「賢い人に出会ったら良いお手本として見習い、愚かな人に出会ったら、自分の反省材料にしてください。」の意味。

練習の成果を「全力疾走」で発揮した郡市中体連陸上大会！

9月は町内にも新型コロナウイルス感染症拡大の波が押し寄せる中、ご家庭の協力を得ながら、「感染しない、感染させない」を合い言葉に、感染対策と教育活動の両立を図っています。閉塞感が漂う日々が続く中、田浦中生は限られた練習時間を有効に使い、郡市中体連陸上大会において活躍（上位入賞者は以下のとおり）しました。特に3年生は、厳しい暑さの中、後輩たちをよく引っ張ってくれました。本校職員も「チーム田浦中」で一丸となり、指導にあたりました。次は、来月14日の郡市中体連駅伝大会に向け、すでに練習が動き出していますが、中間テストが終わり、練習のギアが一段と上がるところです。



先の東京パラリンピックにおいて、多くの感動と勇気をアスリートからもらいました。その中にバドミントン男子シングルス（車椅子）金メダル梶原大暉さんは、ダブルスでも銅メダルに輝き、「周りの人に恵まれてここまで来た。恩返しができたかな」と試合後にコメントを残しています。郡市陸上大会を経験した選手も家族や関係者への感謝の気持ちを表し共感していました。

1年女子100m 1位 宇治原 虹心※県大会出場
女子代表走り幅跳び 1位 安井 千瑛※県大会出場
女子代表走り高跳び 3位 市川 紫月
男子代表100m・200m3位 富永 裕心※100m県大会出場
男子低学年4×100mリレー 2位（中野、加来、山本大馳・陽馬、
吉田、木吉）※県大会出場
女子低学年4×100mリレー 3位（竹原、宇治原、猪木、安井、
木吉、市川） 敬称略



「全国学力・学習状況調査の結果について」

標記の調査は、全国の小6と中3を対象に行われるもので、結果をもとに、生徒の学力や学習状況の改善を把握・分析し、生徒への指導改善等に活かすためのものです。個人カードについてはご家庭に配付してありますのでご確認ください。本校の学力調査結果は、○国語（県平均にあり、全国はやや下回った）○数学（県平均は上回ったが、全国平均は下回った）という状況でした。

生徒質問紙から見える本校の現状は、「人が困っているときは進んで助けている。」「ICTを活用し、生徒との意見交換をしたり、調べ学習をしたりしている。」「朝食を毎日食べる、決まった時間に寝たり、起きたりしている。」「自分には良いところがある（自己肯定感）」等については全国の中学生より良かったのですが、「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人との約束を守っている。」「3時間以上テレビゲーム等をしている。」「将来の夢や目標を持っている。」「家庭で2時間以上学習している」等については、全国の中学生と比べるとかなり課題が見られます。引き続き、本人の自覚を促すとともに保護者との連携が必要と考えます。

「田浦中学校HP」で検索を 随時情報発信！